

ていた財政調整基金*、二十二億円の取り崩しをすることなく、今後に備えることができるとの見込みです。

特別会計では、国民健康保険会計、老人医療会計および公共用地先行取得会計で、昨

企業会計

病院事業

累積欠損金が増え続けるなど厳しい経営状況にある病院事業では、業務の効率化を推進し、経営の健全化に努めました。また、心臓超音波診断システムなどを購入して、医療環境の整備と診療内容の充実に努めました。

中央卸売市場事業

今年十一月しゅん工予定の新水産棟一期工事に着手し、全面建て替えに向けた再整備事業を着実に進めました。

交通事業（電車・バス）、高速電車事業（地下鉄）

輸送人員の減少傾向が続き、依然として厳しい経営状況にあることから、内部効率化の実施など経営の健全化に努めました。また、地下鉄福住駅に非常列車警報装置を整備して安全対策を進めたほか、地

年度と同様収支不足が生じ、平成十四年度の歳入を繰り上げて平成十三年度の歳入に充てる、繰上充用を行いました。
*「財政調整基金」とは、年度の財源の不均衡を調整するための基金です。

下鉄駅施設の老朽化に伴う改良、電車の車体更新および環境に配慮した天然ガスを使用するノンステップバスの導入など、乗客サービスの向上に努めました。

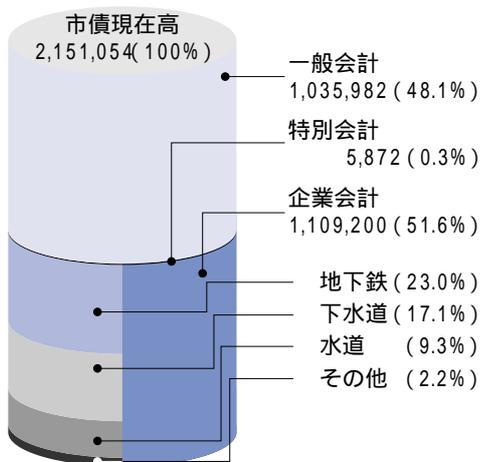
水道事業

緊急時の災害対策施設の充実に努めるほか、藻岩浄水場の改修工事を行うなど、水道システムの安全性を高めるとともに、転出・転入時の受け付けを行う電話受付センターを充実させるなど、市民サービスの向上に努めました。

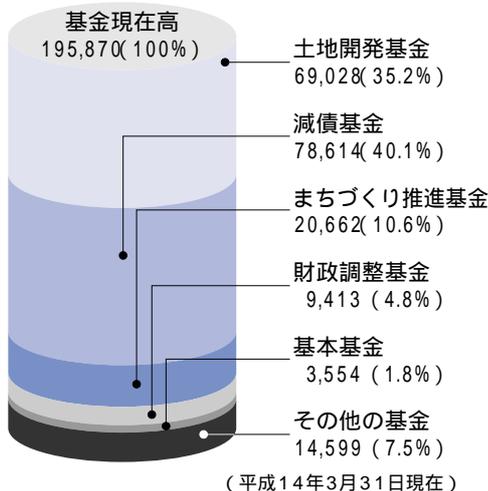
下水道事業

未整備地区の解消や浸水対策、市民要望の高い雪対策事業の実施のほか、平成十二年度より実施中の東部処理場新設工事の継続、さらには平成十三年度より手稲処理場の増設に着手しました。

市債現在高の状況(単位：百万円)



基金現在高の状況(単位：百万円)



企業会計(単位：百万円)

区 分	収 益 的		資 本 的		
	収 入	支 出	収 入	支 出	
病院事業会計	予算現額	21,571	23,497	1,546	1,947
	執行済額	21,388	22,553	1,546	1,945
	執行率%	99.2	96.0	100.0	99.9
中央卸売市場事業会計	予算現額	2,017	1,899	3,628	5,581
	執行済額	1,925	1,820	2,565	4,448
	執行率%	95.4	95.8	70.7	79.7
交通事業会計(電車・バス)	予算現額	11,454	12,998	984	1,120
	執行済額	11,287	11,901	860	1,094
	執行率%	98.5	91.6	87.4	97.7
高速電車事業会計(地下鉄)	予算現額	43,011	65,060	30,187	39,066
	執行済額	43,501	63,642	28,508	37,255
	執行率%	101.1	97.8	94.4	95.4
水道事業会計	予算現額	46,537	45,982	9,901	23,800
	執行済額	46,061	44,584	10,214	22,813
	執行率%	99.0	97.0	103.2	95.9
下水道事業会計	予算現額	48,237	50,275	31,222	46,093
	執行済額	47,522	48,623	30,738	45,337
	執行率%	98.5	96.7	98.4	98.4

収益的収支：企業の経営活動に伴い発生する収入と支出。収入＝料金収入など。

支出＝営業費用、企業債償還費(利子)など。

資本的収支：企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良などに係る収入と支出。

収入＝企業債など。支出＝建設改良費、企業債償還費(元金)など。

一時借入金現在高の状況(単位：百万円) (平成14年3月31日現在)

一般会計	2,180
特別会計	461
企業会計	0
合計	2,641

一時借入金：年度の途中で、収入と支出の時期のずれから一時的な資金不足が見込まれる時に、その不足を補うために銀行などから借り入れる資金。